

提 言 書

「新みさわハーモニープラン」策定に向けて

三沢市男女共同参画市民ワーキンググループ

みさわハーモニープラン推進会議ワーキンググループ

平成23年11月15日

三沢市長 種市 一正 殿

三沢市男女共同参画市民ワーキンググループ
みさわハーモニープラン推進会議ワーキンググループ

「新みさわハーモニープラン」の策定に向けて

私たち三沢市男女共同参画市民ワーキンググループ及びみさわハーモニープラン推進会議ワーキンググループは、現三沢市男女共同参画基本計画である「みさわハーモニープラン」の目標年度が経過することを受けて、新プラン策定のため検討会を行って参りましたが、別添のとおり意見を取りまとめましたので、提言書として提出いたします。

市民及び市職員の意見として、今後策定される新プラン策定の参考にしていただけたら、幸いです。

はじめに

現ハーモニープランの各基本目標について出された意見としては、後段のとおりですが、全体的な意見として、基本目標Ⅰ「男女共同参画への意識改革」については、ある程度浸透していると考えられ、また、現在の社会状況を鑑みると、地域づくりが重要であるとの意見が多く出されました。

そのため、基本目標ⅠにⅣの「男女共同参画における地域社会づくり」を置き、Ⅰの「男女共同参画への意識改革」をⅣに置くべきと考え、下記のとおり修正いたしました。

また、これからの男女共同参画社会は、市民と行政が一体となった「協働のまちづくり」の視点に立ち、実現に向けた計画を策定することが必要です。

基本目標Ⅰ 男女共同参画の地域社会づくり

三沢市のすすめる「協働のまちづくり」の視点から男女共同参画を考えると、女性も男性も参画することはもちろん、国際的な広い視野をもった地域社会づくりが必要とされます。また、地域で活躍する女性の人材育成や活用のために、女性が地域社会に参画しやすい環境を作り、女性の登用率を上げる施策が必要です。

非常時に対応できる体制として、女性の視点を取り入れた、子ども・高齢者のケア、障がいのある方や外国人を対象にした防災マニュアルを作成することが求められます。

基本目標Ⅱ 福祉の向上と健康の推進

少子高齢化に伴い、福祉環境も充実されてきました。また、乳幼児・妊産婦に対する対応も体制が確立されはじめてきたところですが、特別保育事業の整備など多様な需要もあることから、継続的に適材適所に人材を配置し、各種具体事業を拡充するなど、福祉環境の全般的な底上げが必要です。

基本目標Ⅲ 労働の場における条件整備

これからは、女性に対する労働条件整備だけでなく、男性も家庭内の役割を担うという考えから、「男性も女性も共に」といった考え方の施策が必要です。

男女有給休暇・育児休暇取得率の向上や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)を推進するための施策が必要です。

基本目標Ⅳ 男女共同参画への意識改革

当市における男女共同参画に関する意識改革は、おおむね推進されていると思われませんが、市民の意識定着度を把握するため、今後もアンケート等で市民の声を聞くことや、男女共同参画に関わる幅広いテーマでの講座やフォーラムは必要だと考えます。また、ジェンダーフリー意識についての“ジェンダーフリー”という言葉は、本来の意味とは異なった解釈で使われているため、文言の使用を避けた方がよいと思われれます。